

## 中期目標の達成状況報告書 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	6 頁・資料 1-1-2 (普遍教育センター欄 ・17 行)	平成 18 年度 <u>年</u> に設立されてから	平成 18 年度に設立されてから
2	7 頁・資料 1-1-2 (言語教育センター欄 ・20 行)	LL <u>室</u>	LL <u>教室</u>
3	8 頁・資料 1-2-1 (タイトル)	統合型英語 Online システム概要	統合型英語Online <u>CALL</u> システム概要
4	8 頁・12 行	アルカラ・デ・ <u>エレナス</u> 大学	アルカラ・デ・ <u>エナーレス</u> 大学
5	9 頁・資料 1-3-1 (②海外語学研修 プログラム最下段)	海外研修スペイン語 (アルカラ・デ・ <u>エレナス</u> 大学)	海外研修スペイン語 (アルカラ・デ・ <u>エナーレス</u> 大学)
6	12 頁・資料 1-6-1 (薬学部欄)	カリ <u>ュ</u> キュラム	カリキュラム
7	18 頁・資料 1-10-1 (理学部欄・5 行)	早期 <u>修了</u> 制度	早期 <u>卒業</u> 制度
8	19 頁・資料 1-11-3 (理学部欄)	(1 年次 <u>修了</u> 時点で 500 点) 4 年次 <u>修了</u> 時点	(1 年次 <u>終了</u> 時点で <u>スコア</u> 500 点) 4 年次 <u>終了</u> 時点
9	21 頁・資料 2-1-3 (理学研究科欄・ 1 行)	<u>博士</u> 課程進学	<u>後期</u> 課程進学
10	27 頁・35 行	国際 <u>研修</u> 会	国際 <u>研究</u> 集会

	頁数・行数等	誤	正
11	33 頁・資料 1-5-2 (園芸学部・H18 転 部欄)	<u>1</u>	<u>2</u>
12	33 頁・資料 1-5-2 (合計・H18 転部欄)	<u>5</u>	<u>6</u>
13	37 頁・31 行	スポーツ健康科目	スポーツ・ <u>健康</u> 科目
14	39 頁・34 行	検討と改善の <u>参考</u> ために	検討と改善の <u>ため</u> に
15	40 頁・資料 3-1-1 (文学部欄・1 行)	導入ゼミの <u>実</u> 施している	導入ゼミを <u>実</u> 施している
16	40 頁・資料 3-1-1 (法経学部欄・2 行)	「 <u>ザ</u> ブゼミナール」	「 <u>サブ</u> ゼミナール」
17	40 頁・資料 3-1-1 (看護学部欄)	各分野 <u>ご</u> と 5～6 名の看護学入門セ ミナーの <u>実</u> 施している。	各分野 <u>で</u> 5～6 名の看護学入門セ ミナーを <u>実</u> 施している。
18	40 頁・資料 3-1-1 (園芸学部欄・2 行)	に関連させた「導入ゼミ」の <u>実</u> 施してい る。	に関連させた「導入ゼミ」を <u>実</u> 施してい る。
19	41 頁・資料 3-2-1 (理学部欄・3 行)	( <u>第</u> 1 回 平成 19 年 8 月 1 日)	( <u>第</u> 1 回 平成 19 年 8 月 1 日)
20	41 頁・資料 3-2-1 (理学部欄・4 行)	(第 2 回 平成 19 年 8 月 <u>1</u> 日)	(第 2 回 平成 19 年 8 月 <u>2</u> 日)
21	43 頁・20 行	(統合型英語 Online システム)	(統合型英語 Online <u>CALL</u> システム)
22	46 頁・資料 5-1-1 (看護学研究科欄・ 1 行)	大学説明会	大学院 <u>説</u> 明会

	頁数・行数等	誤	正
23	48 頁・13 行	特色ある大学院 <u>教育</u> 改革支援プログラム	特色ある大学教育支援プログラム
24	54 頁・資料 7-1-2 (教育学研究科欄)	教育研究科	教育学研究科
25	54 頁・資料 7-1-2 (教育学研究科欄・ 1 行)	各教専攻内	各専攻内
26	59 頁・19 行	全学出動体制	全学出動態勢
27	60 頁・2 行	各 <u>部</u> 局長が参加する普遍教育センター 教員会議や各 <u>部</u> 局の	各 <u>学</u> 部長が参加する普遍教育センター 教員会議や各 <u>学</u> 部の
28	62 頁・15 行	本館と <u>亥</u> 鼻に	本館と <u>亥</u> 鼻分館に
29	68 頁・資料 3-1-1 (学生の授業評価 上から 9 番目)	パワーポイントを利用して字体を大きく するとともに、 <u>写真や図</u> を入れるとと もに配布資料によって分かりやすくな った。	パワーポイントを利用して字体を大きく し、 <u>写真や図</u> などを入れた配布資料に よって分かりやすくなった。
30	72 頁・資料 3-4-1 (平成 19 年度欄)	英語科教育法概論 I <u>I</u>	英語科教育法概論 I
31	75 頁・資料 4-4-3 2 行	<u>かん</u> がみ	<u>鑑</u> み
32	76 頁・10 行	「目標の達成状況が <u>おおむね</u> 良好であ る」	「目標の達成状況が良好である」
33	80 頁・資料 6-3-1 18・19 行	<u>役</u> 部療法情報の専門家	<u>薬</u> 物療法情報の専門家
34	82 頁・10 行	認定看護師教育を開始し、	認定看護師教育 <u>課程</u> を開始し、

	頁数・行数等	誤	正
35	82 頁・15 行	<u>看護</u> 政策・教育開発研究部	政策・教育開発研究部
36	86 頁・9 行	看護システム管理学での	<u>看護学研究科看護システム管理学専攻</u> での
37	86 頁・資料 1-3-1 (工学部欄・1 行)	大学院博士前 <u>記</u> 課程	大学院博士前 <u>期</u> 課程
38	86 頁・資料 1-3-1 (出典名)	事務局データ、「 <u>千葉大学やよい保育園</u> 」 <u>入園案内</u>	事務局データ
39	87 頁・資料 1-3-2 (出典名)		<u>出典</u> ：「 <u>千葉大学やよい保育園</u> 」 <u>入園案内</u>
40	95 頁・7 行	アルカラ大学	アルカラ・ <u>デ</u> ・エナーレス大学
41	97 頁・1 行	<u>86.9%</u>	<u>89.0%</u>
42	97 頁・資料 4-2-2 (看護学部欄・1 行)	教 <u>宣</u>	教 <u>員</u>
43	99 頁・21 行	「看護病態学と看護管理学の <u>2 領域</u> 」	「看護病態学と看護管理学」の 2 領域
44	99 頁・24 行	<u>向</u> かえる	<u>迎</u> える
45	101 頁・資料 1-2-1 (①英語表現法の 授業概要欄)	書くため <u>絵</u> の	書くための
46	102 頁・資料 1-3-2 (最終行)	キャンパス <u>企</u> 画整備室	キャンパス <u>整</u> 備企画室

	頁数・行数等	誤	正
47	103 頁・資料 1-4-1 (薬学部・薬学研究院欄・1 行)	国立 <u>ガン</u> センター	国立 <u>がん</u> センター
48	103 頁・資料 1-4-1 (工学部・工学研究科欄・9 行)	NEC <u>、</u>	NEC <u>、</u>
49	103 頁・資料 1-4-1 (園芸学部・園芸学研究科欄・1 行)	閉鎖系植物 <u>制御</u> システム都市園芸への利用	閉鎖系植物 <u>生産</u> システム <u>の</u> 都市園芸への利用
50	103 頁・資料 1-4-1 (医学部附属病院欄・1 行)	治療にする	治療に <u>関</u> する
51	103 頁・資料 1-4-1 (真菌医学研究センター欄・2 行)	それら <u>と</u> 用いた	それら <u>を</u> 用いた
52	103 頁・資料 1-4-1 (フロンティアメディカル工学研究開発センター欄)	フロンティアメディカル工学研究センター	フロンティアメディカル工学研究 <u>開発</u> センター
53	103 頁・資料 1-4-1 (フロンティアメディカル工学研究開発センター欄・3 行)	亀田 <u>綜</u> 合病院	亀田 <u>総</u> 合病院
54	106 頁・資料 1-5-1 (融合科学研究科欄・2 行)	高 <u>≥</u> 度	高度
55	106 頁・資料 1-5-1 (園芸学部・園芸学研究科欄・5 行)	人間植物関係学会や、緑化工学会、造園学会など関連学会	人間・植物関係学会や、緑化工学会、造園学会など関連学会
56	108 頁・資料 1-6-1 (園芸学部・園芸学研究科欄・6 行)	・「閉鎖系植物 <u>制裁</u> システムの都市園芸への利用」の立ち上げ	・「閉鎖系植物 <u>生産</u> システムの都市園芸への利用」の立ち上げ
57	108 頁・12 行	<u>千葉大学</u> 亥鼻イノベーションプラザ	<u>千葉大</u> 亥鼻イノベーションプラザ

	頁数・行数等	誤	正
58	109 頁・資料 1-7-1 (園芸学部・園芸学 研究科欄・2 行)	及び利用に関する研究―千葉の県土の 構想に向けて」の推進	及び利用に関する研究―千葉の県土の 構想に向けて <u>二</u> 」の推進
59	110 頁・資料 1-7-2 (下 2 行)	捉え方学ぶ場	捉え方 <u>の</u> 学ぶ場
60	112 頁・資料 1-8-1 (園芸学部・園芸学 研究科欄・1 行)	・「閉鎖系植物 <u>制裁</u> システムの都市園芸 への利用」の実施	・「閉鎖系植物 <u>生産</u> システムの都市園芸 への利用」の実施
61	112 頁・資料 1-8-1 (園芸学部・園芸学 研究科欄・2 行)	・「臨海・都市・農村に至る自然系資源 の <u>医学療法</u> への利用に関する <u>萌芽的</u> 研 究」	・「臨海・都市・農村に至る自然系資源 の創生及び利用に関する研究― <u>千葉の</u> <u>県土の構想に向けて一</u> 」
62	113 頁・12 行	<u>向</u> かえる	<u>迎</u> える
63	114 頁・資料 2-1-1 (融合科学研究科 欄・1 行)	Symposium	Symposium
64	115 頁・資料 2-1-1 (産学連携・知的財 産機構欄)	・産官学フォーラム	・産官学フォーラム ( <u>平成 19 年度より</u> <u>産学官連携イノベーションフォーラム</u> <u>に名称変更</u> )
65	115 頁・14 行	オープンリサーチ	オープン <u>・</u> リサーチ
66	115 頁・15 行	産官学フォーラム <u>の</u> (平成・・・	産官学フォーラム (平成・・・
67	116 頁・6 行	<u>千葉大学</u> 亥鼻イノベーションプラザ	<u>千葉大</u> 亥鼻イノベーションプラザ
68	116 頁・8 行	<u>千葉大学</u> 亥鼻イノベーションプラザ	<u>千葉大</u> 亥鼻イノベーションプラザ
69	116 頁・資料 2-2-2 (受託研究の実施 及び受入れ状況 欄)	平成 19 年度 金額 <u>438,055</u>	平成 19 年度 金額 <u>450,965</u>

	頁数・行数等	誤	正
70	117 頁・18 行	目的の達成状況	目標の達成状況
71	119 頁・資料 1-1-1 (社会人の学び直しコース対応教育推進プログラム欄・1 行)	看護識者	看護職者
72	119 頁・資料 1-1-1 (大学院教育改革支援プログラム欄・10 行)	山本 <u>恵</u> 司 教授	山本 <u>恵</u> 司 教授
73	122 頁・資料 2-2-2 (平成 16 年度助成額欄)	(B) 50 万円以上 100 万円未満、 <u>、</u>	(B) 50 万円以上 100 万円未満
74	122 頁・資料 2-2-2 (平成 17 年度助成額欄)	(B) 100 万円以下、 <u>、</u>	(B) 100 万円以下
75	127 頁・7 行	平成 18 年に	平成 18 年 <u>度</u> に
76	130 頁・資料 4-3-2 (最終行)	生じていること明らか <u>と</u> した。	生じていることを明らか <u>に</u> した。
77	133 頁・資料 5-2-4 (健康・福祉・介護欄・最終行)	サステナブル	サステ <u>イ</u> ナブル
78	135 頁・資料 6-1-1 (教育学部・教育学研究科欄)	共同 <u>使用</u> 可能設備	共同 <u>利用</u> 可能設備
79	138 頁・資料 1-1-1 (工学部・平成 18 年度欄・2 行)	(空気とそのはたらきと遊び) <u>に</u> 実施	(空気とそのはたらきと遊び) <u>の</u> 実施
80	142 頁・5 行	ブリテ <u>イ</u> ッシュカウンシル	ブリテ <u>イ</u> ッシュカウンシル

	頁数・行数等	誤	正
81	143 頁・12 行	参加者に <u>本大学</u> の技術を・・・。	参加者に <u>本学</u> の技術を・・・。
82	144 頁・9 行	「 <u>千葉大学</u> イノベーションプラザ」	「 <u>千葉大亥鼻</u> イノベーションプラザ」
83	145 頁・資料 1-5-1 (産学連携・知的財産機構欄・3 行)	「オープンリサーチ」	「オープン・リサーチ」
84	146 頁・資料 1-6-1 (環境健康フィールド科学センター欄・3 行)	地域スポーツ指導者セミナーの実施 (年 4 回) <u>を実施</u>	地域スポーツ指導者セミナーの実施 (年 4 回)
85	150 頁・資料 2-1-2 14 行	目的とて	目的と <u>して</u>
86	151 頁・資料 2-1-2 53 及び 55 行	千葉大学総務部	千葉大学 <u>企画</u> 総務部
87	156 頁・9 行	<u>国</u> 成績評価制度を	成績評価制度を
88	161 頁・資料 2-10-1 (平成 19 年度 No. 7)	<u>精華</u> 大学	<u>清華</u> 大学
89	162 頁・資料 2-10-1 (出典名)		<u>(出典：事務局データ)</u>
90	162 頁・資料 2-11-1 (出典名)		<u>(出典：事務局データ)</u>
91	162 頁・資料 2-11-2 (薬学研究院欄・ 3 行)	学術 <u>協力</u> 協定	学術 <u>交流</u> 協定



## 学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 4-11・14 行	高等学校の2年 <u>修了</u> 段階で	高等学校の2年 <u>次終了</u> 段階で
2	教育 4-11・16 行	先進 <u>化学</u> プログラム	先進 <u>科学</u> プログラム
3	教育 4-16・7,9 行 教育 4-16・資料 4-23 表題、表中 2 行	<u>取得率</u>	<u>修得率</u>

## 学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 6-4・21 行	国際医療福祉大学のOS <u>D</u> Eに	国際医療福祉大学のOS <u>C</u> Eに

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 7-4・13 行	<u>学習</u>	<u>学修</u>
2	教育 7-18・11 行	「大学における看護実践能力育成の充実に <u>向</u> けて」	「大学における看護実践能力の <u>育</u> 成の充実に向けて」
3	教育 7-19・6 行	米国アラバマ大学 <u>キャプ</u> ストーン校	米国アラバマ大学 <u>タス</u> カルーサ校
4	教育 7-27 資料 7-39 資料名	学業の成果に関する自己分析（平成 19 年度教育研究に関する意識満足度調査）	学業の成果に関する自己分析（平成 19 年度教育研究に関する意識・満足度調査）
5	教育 7-28 資料 7-40 資料名	学生の自己分析の比較（平成 19 年度教育研究に関する意識満足度調査から）	学生の自己分析の比較（平成 19 年度教育研究に関する意識・満足度調査から）

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	<p>頁数・行数等</p>	<p>誤</p>	<p>正</p>
<p>1</p>	<p>教育 9-13 資料 9-13 学習指導法の改良例（抜粋）</p>	<p>・その日のポイントなどは時間中に<u>協</u>調した。</p>	<p>・その日のポイントなどは時間中に<u>強</u>調した。</p>

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 10-16・17 行	…51 <u>人</u> の本研究科修了生が…	…51 <u>名</u> の本研究科修了生が…
2	教育 10-17・16 行	…教師としての <u>的確</u> な者が…	…教師として <u>適格</u> な者が…

## 学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 11-3 資料 11-4 表中 2 行	第 <u>2</u> 条	第 <u>3</u> 条
2	教育 11-3 資料 11-4 表中 3 行	高度な <u>専門性</u> 周辺科学への <u>対応力</u>	高度の <u>専門性</u> 周辺科学への <u>理解を深めて新しい課題</u> への <u>対応力</u>
3	教育 11-3 資料 11-4 表中 4 行	関連分野への <u>興味と応用力</u>	関連分野への <u>柔軟な</u> 応用力
4	教育 11-3 資料 11-4 表中 8 行	博士後期 <u>過程</u>	博士後期 <u>課程</u>
5	教育 11-3 資料 11-4 表中 10 行	目的と <u>している</u> 。	目的と <u>する</u> 。
6	教育 11-3 資料 11-4 表中 11～13 行	<u>この教育目標を実現するために、基盤 理学専攻と地球生命圏科学専攻を置 き、各専攻は専門分野に即したコース を設け、広い基礎的視点と理解力を有 することのできる人材養成を行う。</u>	削除
7	教育 11-4・12 行	多 <u>用</u> な観点	多 <u>様</u> な観点
8	教育 11-6・3 行	主指導教員	主任指導教員
9	教育 11-8・20 行	博士課程後期 <u>基盤理学専攻</u>	博士後期課程 <u>基盤理学専攻</u>
10	教育 11-12・13 行	リフレッシュコーナー	リフレ <u>ッ</u> シュコーナー

	頁数・行数等	誤	正
11	教育 11-13・7行	<u>終了時</u> の学長・研究科長表彰等	<u>修了時</u> の学長・研究科長表彰等
12	教育 11-14・12行	要求されており、 <u>学術論文を</u>	要求されており、 <u>学生は学術論文を</u>
13	教育 11-14・17, 18行 教育 11-14・資料 11-16 表題、表中 1行 教育 11-17・4行	単位 <u>取得率</u>	単位 <u>修得率</u>
14	教育 11-18 資料 11-18 表中 合計欄	<u>116</u> <u>497</u> <u>72</u> <u>685</u> <u>195</u> <u>129</u> <u>23</u> <u>32</u> <u>5</u> <u>19</u> <u>5</u> <u>15</u> <u>16</u> <u>34</u> <u>5</u> <u>13</u> 1 <u>5</u>	<u>82</u> <u>355</u> <u>50</u> <u>487</u> <u>153</u> <u>80</u> <u>15</u> <u>19</u> <u>0</u> <u>18</u> <u>4</u> <u>11</u> <u>9</u> <u>28</u> <u>4</u> <u>13</u> 1 <u>0</u>
15	教育 11-21・25行	大学院 <u>前期課程</u>	大学院 <u>博士前期課程</u>

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 12-3・6 行	専門看護師規程（抜粋）	専門看護師 <u>教育課程認定規程</u> （抜粋）
2	教育 12-3 資料 1 2-5 資料名	日本看護系大学協議会 専門看護師教育課程認定規程	日本看護系大学協議会 専門看護師教育課程認定規程（ <u>抜粋</u> ）
3	教育 12-12 資料 1 2-2 7 二の文章中	修士課程修了者の場合 <u>に</u> 等については、	修士課程修了者の場合 <u>等</u> については、
4	教育 12-22・16 行	多 <u>角</u> 的	多 <u>面</u> 的



学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 14-8・4行	専門性を保持したまま多分野横断的教育 <u>を</u> できる	専門性を保持したまま多分野横断的教育 <u>の</u> できる
2	教育 14-12・4行	緑地に <u>対</u> する福祉や予防医学的な社会の	緑地に <u>関</u> する福祉や予防医学的な社会の
3	教育 14-13・5行	の要望により英語開講する科目を	の要望により英語 <u>で</u> 開講する科目を
4	教育 14-13・30行	高い倫理 <u>感</u> 、	高い倫理 <u>観</u> 、
5	教育 14-15・29行	収集し適切 <u>の</u> 処理する力、	収集し適切 <u>に</u> 処理する力、

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	2-9、21 行目	小学校入門期の読み書き <u>指導法</u> に関する	小学校入門期の読み書き <u>教育法</u> に関する

## 学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 5-6・ 資料 5-6 表中	医学研究院 19 年度 受入金額 <u>99,791,197</u>	医学研究院 19 年度 受入金額 <u>112,701,674</u>

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 7-3・22 行目	看護システム <u>専攻</u> 管理学	看護システム <u>管理学</u> 専攻
2	研究 7-6・9 行目	副看護部長研修	<u>国公立</u> 大学病院副看護部長研修
3	研究 7-8・8 行目	厚生科学研究費	厚生 <u>労働</u> 科学研究費
4	研究 7-9・31 行目	副看護部長研修	<u>国公立</u> 大学病院副看護部長研修

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 13-8 資料 13-8 区分欄	<u>科学研究費補助金</u>	<u>共同研究</u>

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 14-10・5行	プレゼンテーション賞（ポスター <u>症</u> ）	プレゼンテーション賞（ポスター <u>賞</u> ）